

あらかわ 区議会だより

No. 277
令和5年4月16日
(2023年)

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

荒川区議会は持続可能な開発目標
(SDGs) を支援しています。



荒川区議会HP

令和4年度定例会・2月会議号



汐入 さくら堤通り

おもな内容

2ページ 議会活動
2月会議の概要

3ページ 区政のここをきく

10ページ 趣旨採択された請願
委員会活動の報告

14ページ 予算審査の概要

15ページ 主な総括質疑
区長の施政方針説明

16ページ 予算に対する討論

19ページ 議案の審議結果

20ページ 視察受入報告
表紙写真募集

議会活動

令和4年12月9日～令和5年3月15日

12月15～16日

○議会運営委員会（行政視察）

12月21～22日

○震災・災害対策調査特別委員会（行政視察）

○健康・危機管理対策調査特別委員会（行政視察）

12月23日

○観光・文化推進調査特別委員会（表敬訪問及び行政視察）

1月10日

○総務企画委員会

○福祉・区民生活委員会（区内視察）

1月12日

○文教・子育て支援委員会

○建設環境委員会

1月13日

○財政援助団体調査特別委員会

1月17日

○観光・文化推進調査特別委員会

1月26日

○震災・災害対策調査特別委員会

1月27日

○議会運営委員会

1月30～31日

○財政援助団体調査特別委員会（行政視察）

1月31日

○健康・危機管理対策調査特別委員会

2月1日

○総務企画委員会

○福祉・区民生活委員会

2月3日

○文教・子育て支援委員会

○建設環境委員会

2月14日

○議会運営委員会

2月15日

○本会議

2月20日

○本会議

2月21日

○総務企画委員会

○福祉・区民生活委員会

2月22日

○文教・子育て支援委員会

○建設環境委員会

2月28日

3月1・2・3・7・8日

○予算に関する特別委員会

3月9日

○本会議

○予算に関する特別委員会

3月10日

○予算に関する特別委員会

○福祉・区民生活委員会

3月14日

○議会運営委員会

3月15日

○本会議



2月15日～3月15日までの期間(太字)に、令和4年度の2月会議が開かれました。

2月会議の概要

令和5年度一般会計予算ほか3特別会計予算を可決 子どもの権利条例（議員提出議案）を制定しました

令和5年2月15日から3月15日までの29日間の日程で、2月会議が開かれました。

本会議では、11名の議員から区政全般にわたり一般質問が行われました。

（要旨は3～10ページに掲載しています）

2月会議では、議案36件が提出されました。

（議案の審議結果は19ページに掲載しています）

このうち令和5年度予算4件は、予算に関する特別委員会を設置して審査を行いました。

（予算審査に関する詳しい内容は14ページに掲載しています）

なお、11月会議号(令和5年1月29日発行)にてお知らせした「荒川区子どもの権利条例」についても、全会一致で可決しました。



◀2月会議での区長挨拶の様子

区政のここをきく

2月15日、20日の本会議にて、一般質問が行われました

一般質問要旨



令和5年度予算と健康で活力のあるまちの実現について

並木 一元(自民党)



令和5年度予算について

問 コロナ対応策の変化、エネルギー価格の高騰や円安による物価高など、多くの課題への対応が求められている現状において、区長はどのような決意で令和5年度予算の編成に臨んだのか。

答 この度の予算案は、「一人ひとりに寄り添い、明るい未来へ歩みを進める予算」との位置付けの下、編成した。区民が安心して暮らすことができるよう、予算で提案した施策の迅速かつ確実な実行に向け、全庁を挙げて取り組んでいく。

問 本来、学校給食の無償化については国や都が広域的に行うべき施策だが、現下の物価高騰等の子育て世帯への影響は看過できず、我が党は早期実施を区に要請した。区の英断を高く評価するとともに、実施に向けての見解を問う。

答 学校給食の無償化は、本来、国や都が実施することが望ましいと考えるが、急激な物価高騰等に伴う子育て世帯の負担増加や他区の状況等から区立小中学校の給食無償化を決定した。今後も財源の確保に向け、引き続き国や都に働きかけを行い、質の高い給食の提供に最大限取り組んでいく。



◀ 区内小学校の給食

問 行政需要が高まる一方で、公共施設の老朽化対応等、これまで以上に行財政改革に取り組まねばならない。更なる歳出の削減や歳入確保に努め、

明確に成果を上げるためにどのような行財政運営を展開するのか、区の見解を問う。

答 来年度の取り組みとして、徹底的な事務事業の見直しを図るとともに、施設の中長期的な建て替え需要を見据え、特定目的基金として約20億円を計上した。また、歳入面でも、ふるさと納税制度の充実を図る等、自主財源の確保にも取り組み、行財政改革の取組を強力に推進していく。

健康で活力のあるまちの実現について

問 日常生活のあらゆる場面に新しい生活様式が定着する一方で、心身のバランスを崩す方が増えている。アフターコロナの健康づくりについて、これから改定する健康増進計画にフレイルや生活習慣病予防などの対策をどのように取り込んでいくのか、方向性も含めた区の見解を問う。

答 区民の健康増進のため、体力向上やフレイル予防とともに、きめ細かい支援に取り組む。健康増進計画の改定では、コロナの経験を踏まえた新たな要素も反映し、より効果的な健康づくりを進める。区民のライフステージに応じた健康づくりのための環境整備、健康増進事業の推進に努めていく。

問 町屋公園については、かねてから要望していた民有地部分を含めた都市計画決定が行われ、敷地全体を有効活用することで、利用の幅が格段に広がった。町屋公園をスポーツ環境整備に重点を置きつつ、老若男女、皆が楽しめる公園として整備すべきと考えるが、区の見解と整備状況を問う。

答 町屋公園については、まもなく事業認可手続きが完了し、用地折衝に取り掛かる予定である。また、スーパー堤防整備の方向性について都との協議がまとまり、今年度中に確認書を締結する予定である。スポーツに重点を置き、皆が楽しめる場となるよう、整備に向け取り組んでいく。

問 昨年10月、国は子育て世帯に対して伴走型相談支援と経済的支援を一体的に行う方針を打ち出した。核家族化が進み、地域のつながりが希薄になる中、全ての妊婦、子育て家庭が安心して出産・

子育てできる環境整備は喫緊の課題である。今後の妊婦や子育て家庭への支援について見解を問う。

答 妊娠届時や妊娠8ヶ月時の面談、アプリを活用した情報発信など、保健師のきめ細やかな支援とともに、新たに国や都の財源を活用した妊娠期・出産後・乳幼児期に応じた経済的支援を実施する。切れ目のない相談支援を継続し、妊婦・子育て家庭への更なる支援の充実に取り組んでいく。

その他の質問項目

- 今後の災害対策について
- 脱炭素社会の実現に向けた今後の温暖化対策について

替えを目指し、地域の意見も聞きながら、(仮称)諏訪台ふれあい館整備に向け鋭意取り組んでいく。



◀諏訪台ひろば館の外観

問 地元の協力の下で高齢者や観光客が休息できる椅子等の設置を提案するが、区の見解を問う。

答 諏訪台通り周辺には観光資源が多く、休息スペースは必要である。ベンチ等の設置場所についても関連部署とも連携し、鋭意検討を進めていく。

その他の質問項目

- 福祉施設におけるBCPの策定について



区民の健康促進と西日暮里3・4丁目近隣の街づくりについて

保坂 正仁(公明党)



区民の健康促進について

問 带状疱疹ワクチン接種費用の負担は大きいいため、都の補助を除く全額を区が負担し、更に関連情報の周知を徹底すべきと考えるが、区の見解を問う。

答 令和5年度から50歳以上の区民を対象に半額程度助成する予定であり、区報やホームページ、SNS、ポスターやチラシ等にて周知を徹底する。

問 高校生までの医療費無償化と同じタイミングで、小児インフルエンザワクチン予防接種費用の助成を実施すべきと考えるが、区の見解を問う。

答 今年度は慢性疾患や障がいのある小児を対象に接種費用の一部助成を行ったが、更なる拡大については効果や流行状況を見据えつつ検討していく。

西日暮里3・4丁目近隣の街づくりについて

問 老朽化の目立つ諏訪台ひろば館の建て替え用地の確保が困難なのは理解するが、整備プランに拘らず、延べ床面積を最大限に活用し、商業施設を合築したふれあい館への建て替えを提案するが、区の見解を問う。

答 用地の確保に努めてきたが、機能の分散や縮小という代替手法の検討を進め、ひろば館の早期建て



第9期高齢者プラン計画と公衆浴場の維持について

斉藤 邦子(共産党)



第9期高齢者プラン計画について

問 国の仕組みを変えない限り、介護保険制度は給付削減と利用料負担の拡大、保険料値上げが続く。区として介護保険料の値上げはしない、出来ない強い態度で臨むべきと考えるが、見解を問う。

答 高齢者の生活を支える持続可能な制度であり続けるため、必要に応じ国に要望を行ってきた。今後も国の動向を注視し、区民生活に与える影響に配慮しながら介護保険料を適正に算定していく。

問 要介護認定がなくともベッド貸与が受けられるように高齢者福祉で対応すること。

答 介護ベッドの貸与は柔軟に認めており、その他の方の利用希望の対応は地域包括支援センターや介護サービス事業者等と情報交換を行っている。

問 介護保険では足りない部分の家事援助サービス等を利用する場合の負担を軽減するため、区独自サービスを検討すべきと考えるが、見解を問う。

答 低額で利用できる民間サービスの有効活用などについて、介護事業者等と情報共有を円滑に行いながら、適切に案内できるよう取り組んでいく。

公衆浴場を維持するために

問 福祉の向上に重要な役割を果たす公衆浴場存続のためにも、早急に基本計画を策定し、思い切った対策を打ち出すべきと考えるが、見解を問う。

答 昨今の燃料費高騰等に対する緊急対策や需要喚起策を実施するなど、必要な支援に努めている。今後とも、浴場組合の要望も十分に聞きながら、きめ細かく支援していく。



◀あらかわ銭湯マップ
（浴場・ひろば館・ふれあい館・図書館等で配布）

問 ふろわり200を台東区や北区などの近隣区でも使えるようにすること。

答 他区の動向等も踏まえつつ、荒川区の公衆浴場組合と丁寧に意見交換しながら検討していく。

問 非正規の若者支援や銭湯の良さを直に知ってもらうためにも、「誰でもふろわり200の日」を設け、若者支援も含めた利用促進策を検討すること。

答 少年スポーツ大会等での入浴券配布や季節湯への支援等、幅広い層への需要喚起に注力している。

その他の質問項目

- 岸田内閣の大軍拡・大増税・社会保障削減が区の財政に与える影響について
- 新型コロナ5類移行後も公費負担の継続を国・都に求め、区の独自対策を継続・強化すること
- 特別支援教育の充実について



重度障がい者の自立支援と都市強靱化に向けた施設の更なる強化について

竹内 明浩
(ゆいの会)



重度障がい者の自立支援について

問 重度障がい者の方が区内で自立した生活を送ることができるよう、支援体制の強化が必要である。利用者本位の生活支援体制の充実や、事業者が連携して介護体制の構築を行うためには、行政がイニシアチブをとるべきと考えるが、見解を問う。

答 障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる社会の実現を目指し、訪問介護などの在宅サービスの充実を図るほか、居住の場であるグループホームと日中活動の場である生活介護施設の区内への整備を促進していく。



◀障がい者地域生活支援施設（スクラムあらかわ）の外観

都市強靱化に向けた施設の更なる強化について

問 強靱で持続可能なまちづくりを行うには、更にマンションに特化した防災計画の策定を強化する必要がある。行政が管理組合を主導・連携し、防災対策の普及啓発に取り組むためにも、きちんと実態把握をすべきと考えるが、区の見解を問う。

答 令和4年度に実施したマンション実態調査では、防災マニュアルを作成しているマンションは約14パーセントであり、より一層取り組みを推進していく必要がある。引き続き、マンションにおける防災対策の向上に向けて鋭意取り組んでいく。

問 平成12年以前の新耐震基準で建てられた木造で耐震性能が十分でないグレーゾーン住宅には、現状、具体的な対策や支援が行われていないため、何らかの施策が必要と考えるが、区の見解を問う。

答 区では約3,700棟程度のグレーゾーン住宅を把握しており、これまでも安全点検の呼びかけ

を行ってきた。都の支援制度を積極的に活用し、耐震化への新たな支援策について検討していく。



区民を守るため、そして様々な歪みの是正について

小坂 英二
(日本創新党)



区民を守るために大局的視野から

問 ミサイル攻撃にも耐えうる地下シェルターの整備を進めるべき。区役所や区施設の建て替えの際に設置は必須と考えるが、区の見解を問う。

答 国民保護法に基づくミサイル攻撃の避難施設に区内78カ所が指定されている。公共施設建て替え時に、シェルター機能等について研究していく。



弾道ミサイル落下時の行動について(国民保護ポータルサイトより)

問 安全性が極めて高い小型原発を区内公共の場の地下に誘致し、地元で電力の安定供給を行うべき。

答 安全性を含め実用化に向けた研究が進められている段階であり、誘致の検討をする予定はない。

問 空想的平和教育は有害で、大切なものは戦ってでも守る覚悟を持つ真の平和教育を進めるべき。

答 教育基本法や学習指導要領の趣旨を踏まえた上で、総合的、計画的に平和教育に取り組んでいく。

様々な歪みの是正について

問 済州市(韓国)、大連市中山区(中国)との姉妹友好都市関係は破棄すべき。

答 顔が見える交流が国家間の友好につながると認識し、今後も自治体間の相互理解を深めていく。

問 都の「都市計画道路92号線延伸」計画を廃止するよう基礎自治体として意思表示すべき。

答 地元住民に丁寧な説明を行うよう都に申し立てられているが、不要との意思表示をする考えはない。

問 LGBTを騙る犯罪や悪用が起きる中、社会を歪めかねないパートナーシップ制度は、利用実績も少なく廃止すべきと考えるが、区の見解を問う。

答 一部事例をもってLGBTの対応を評価したり制度の廃止を論じるのは適当ではなく、引き続き区民や事業者等の理解促進に向け取り組んでいく。



TOKYO 強靱化プロジェクトに関して取り組むべき課題と新型コロナ5類移行後の対策について

藤澤 志光
(自由民主の会)



TOKYO 強靱化プロジェクトに関して取り組むべき課題について

問 気候変動により浸水氾濫はますます増加が見込まれる。風水害対策について、今後の課題は何か。

答 職員の災害対応力の強化や区民への情報発信体制を充実させるとともに、在宅避難や分散避難、備蓄の推進など普及啓発を引き続き推進していく。



荒川区防災アプリ(トップ画面)

問 「地震対策」について、不燃化特区、地籍調査事業をどのように進めていくのか。また、木造住宅の耐震化、マンション防災の充実強化対策はどこまで進んでいるのか、区の見解を問う。

答 不燃化特区内等の建替え支援や地籍調査を確実に推進し、木造住宅の耐震化には新たな支援策を検討する。マンション防災に関しては手引きを策定しており、防災対策向上に鋭意取り組んでいく。

新型コロナ5類移行後の対策について

問 5類移行後、店舗等のアルコール消毒、3密回避、ワクチン接種等に対して、区への対応は。

答 区としては、基本的な感染対策を引き続き周知啓発し、今後国から示される具体的な方針を踏

まえ、適切に対応していく。

問 新型コロナワクチン接種後の後遺障害に関する相談があった際に、医療機関を紹介すべきと考えるが、区の見解を問う。

答 区では接種後に副反応とみられる症状がある方の相談を受けており、今後も適切に対応していく。

問 带状疱疹ワクチン接種について、リスクの説明をしっかり行うことが必要と考えるが見解を問う。

答 区としては、ワクチン接種選択の際の判断材料となる情報の提供と周知徹底を図っていく。



新型コロナ5類移行後の対策と社会保障費の負担増について
河内ひとみ
(あらかわ元気クラブ)



新型コロナ5類移行後の対策について

問 5類移行後、自宅療養者に対する区の相談支援体制はどうか、区の見解を問う。

答 区では患者等に必要な支援や相談業務を継続できるように、国の方針を踏まえ適切に対応していく。

問 コロナ陽性等での保育士や介護従事者、また区の職員の休暇の取り扱いや、民間事業所含め休業中の賃金保障などについて、区の見解を問う。

答 区として業務継続に支障のないよう対応し、民間労働者を含め、国の動向を注視する。

問 5類移行後、入院が必要な陽性者のための区独自の感染症病床確保の継続は検討しているのか。

答 引き続き、区で入院調整を行う場合には、区独自の病床確保等はこれまでと同様に実施していく。

社会保障費の負担増について

問 社会保障費の負担は年々増大している。区は高齢者の生活の現状をどのように把握し、逼迫した年金生活状況への対策を考えているのか。

答 保険料負担の軽減は制度全体として国が対応すべきであるが、今後も様々な要望を行っていく。

問 介護保険制度の改正により見込まれる保険料やサービス利用料負担拡大に対して、区の対策は。

答 区民生活への影響に配慮しながら保険料を適正

に算定するとともに、国の動向を注視していく。

問 介護職の処遇改善等、人材不足に対する具体的な方策について、区の見解を問う。

答 令和5年度から、ケアマネジャーの確保・定着のため、居宅介護支援事業所に助成を行う。



介護事業所内の様子

その他の質問項目

○令和あらかわ病院の開設について



子育てのまちあらかわの実現と南千住地域のこれからのまちづくりについて

町田 高(自民党)



子育てのまちあらかわの実現について

問 現状のコロナ禍における厳しい経済状況において様々な支援が行われてきた。今回、荒川区が打ち出した学校給食の無償化は、こうした施策と相俟って少子化への効果を発揮するものであり時宜にかなったものと考えているが、区の見解を問う。

答 学校給食の無償化は国や都の施策として実施することが望ましいと考えるが、区の負担において学校給食を無償化することで、広く子育て世帯を支援する取り組みになると認識している。

問 教育環境が多様化し、効果的な学力向上策の推進や学校施設老朽化対策、特別支援教育の更なる充実など課題は多い。とりわけ小中学校など施設設備の老朽化が目立つ中、子ども達が学び育つ場である学校施設の環境整備等、教育環境の更なる向上に向けた取り組みについて、区の見解を問う。

答 学校施設・設備の老朽化対策については、大規模改修工事や中規模改修工事、更に校舎の建て替えについても計画的に進めていく。ハード・ソフ

ト両面における効果的な施策を迅速かつ的確に実施し、子どもたちが生き生きと育ち豊かに学ぶ学習環境の充実に全力で取り組んでいく。

問 4月に開設する児童養護施設における社会的養護や今後の地域での子育て支援の展開、ケアリーバー支援の充実について問う。また、昨年12月に開始した若者相談「わか」に関して、相談体制の拡充を図るべきであり、今後、若者支援をどのように発展させていくのか、区の見解を問う。

答 児童養護施設については、ショートステイや里親支援業務のほか、広く地域の子育てを支援する役割を担うべく連携を深めていく。ケアリーバーへの支援については、一時支度金の支給や資格等取得費用の補助の準備を進めている。「わか」については、来年度からLINEを活用した相談を開始し、ふれあい館での出張相談の実施に向け準備を進めるなど、相談環境の充実を図っていく。



▲荒川区若者相談「わか」パンフレット

問 子どもの権利条例制定後、この条例に魂を吹き込み、実効性あるものにしていくのは区議会と区の役割である。地域全体で子ども達を育て、子どもの権利を守る視点が施策にどう反映されていくのか、この条例制定についての認識を問う。

答 条例の制定を機にこれまで以上に、子どもの命と権利を守るために実効性ある施策を展開するとともに、子ども達が一人の人間としての尊厳と権利を守られながら健やかに育ちゆく地域社会づくりを全力で推進していく。

南千住地域のこれからのまちづくりについて

問 区のウェブサイトにも補助第331号線整備事業に関するページを設置し、タイムリーに交通規制の変更等を発信してはどうか。また、南千住駅前からドナウ通りに抜ける道路は、補助第331号線で車が行き止まりになるため、その事が分かるように整備すべきと考えるが、区の見解を問う。

答 ウェブサイトに特設ページを設けて周知することは大変効果的であるので、準備を進めていく。また、南千住駅前からドナウ通りに抜ける道路については、車両が誤って侵入しないよう歩道状にすること等を検討し、着実に整備を進める。

問 補助第331号線整備後のララテラス部分の将来のまちづくりについて、また、現在は駅前広場としてうまく機能していないドナウ広場や店舗がほとんどない線路沿いの道路を含め、駅前全体としてのにぎわい創出について、区の見解を問う。

答 ララテラス周辺には、生活を支える商業施設のほか、地域の魅力向上に資する施設が必要と認識し、新たな施設と周辺の道路等が一体となったにぎわい創出を目指すべきと考えており、南千住地域の発展に繋がるまちづくりを検討していく。

その他の質問項目

- 今後のDXの推進について
- 更なる区民の安全・安心の確保について
- 荒川区豊かな心を育む読書のまちづくり条例について



学校教育における負担の軽減と尾久地域の区民サービスの向上について

菊地 秀信 (公明党)



学校教育における負担の更なる軽減について

問 学校で使う教材等の学用品の費用縮減について、区民アンケートを実施したところ様々な声が寄せられた。物価高の今、保護者の負担軽減は大きなエールとなると考えるが、区の見解を問う。

答 学用品や教材も含めた保護者の負担軽減に努めつつ、改めて教材以外についても必要性等の精査を徹底し、主体的、対話的で深い学びを育む学校教育の充実に全力で取り組んでいく。

尾久地域の更なる区民サービスの向上について

問 町屋区民事務所の移転後、次に整備すべきは尾久区民事務所である。利便性の高さから新住民が増え続ける尾久地域において、尾久区民事務所

の早期リニューアルを求めるが、区の見解を問う。

答 尾久区民事務所の老朽化については、大規模な改修や建て替えの実施が喫緊の課題である。ニーズの把握に努め、適切な用地の確保に取り組み、移転及び建て替えについて鋭意検討を進めていく。



◀ 尾久区民事務所の外観

問 本庁舎の一部窓口と南千住区民事務所では窓口延長や日曜開庁を実施している。尾久区民事務所がリニューアルされた場合、同様の窓口開設時間の拡大を求める。それまでは、本庁舎の窓口を更に延長して欲しいと考えるが、区の見解を問う。

答 サービスの拡充等にあたっては、効果や人員体制、経費等を総合的に判断し、十分に検証していく必要がある。窓口やオンライン手続きの利用状況の推移を含め、区民ニーズを的確に把握し、更なるサービス向上に向けた取り組みを推進する。


その他の質問項目

○子どもの転落防止のための補助錠の配布について



多様性あるやさしい荒川区を住まいから、そして社会全体で子どもの健やかな成長を支えるために

北村 綾子 (共産党)



多様性あるやさしい荒川区を住まいから

問 高齢者向け区営住宅の需要は非常に高いため、改修を進め、新規建設や新規借上げを求める。

答 高齢者のニーズに応えるため様々な手法で現状を維持し、必要な支援策について検討していく。

問 ひとり親家庭はもちろん、物価高騰で経済的に苦しい若者向け家賃支援制度を求める。

答 若年世帯はこの20年間で約1万世帯増加しており、新たな家賃支援制度は必要ないと考える。

社会全体で子どもの健やかな成長を支えるために

問 公園遊具の日常点検・清掃に関して、点検箇所や頻度などのマニュアル化を求める。

答 週一回の頻度で日本公園施設業協会が策定したマニュアルに基づく点検を実施、さらに委託事業者による見回りにおける連絡体制を整えている。

問 ボール遊びのできる公園・スペースは要望も多く、時間帯等を工夫して積極的に設置して欲しい。

答 公園の改修や新設に併せ、ボール遊び場の充実について、引き続き検討を進めていく。



◀ ボール遊びのできる荒川8丁目公園

問 日曜祝日関係なく働く方のためにも、まずは中核となる園だけでも休日保育の実施を求める。

答 休日保育には、就労体制の整備など課題があり、ニーズを踏まえた上で、慎重に検討していく。

問 保育士の処遇改善と保育の質の担保が重要課題である。各園に保育士1人の追加配置を求める。

答 国よりも高い配置基準を定め、補助金額の加算も行っている。また、保育の環境整備にあたり、保育士の処遇改善についても国に要望している。


その他の質問項目

○会計年度任用職員の処遇改善について



区内における住民の移動手段と地域公共交通政策について

横山 幸次 (共産党)



区内における住民の移動手段と地域公共交通政策について

問 町屋さくらの代替え手段となるデマンド型交通においても、企業の自主運行は不可能と考える。コミュニティバスなど地域公共交通の運行コスト

に税は使わないという方針を改めること。

答 デマンド交通については、高齢者等の福祉的な交通として検討しており、今後実施を考えている実証実験を通じて導入効果や経費を明らかにし、費用負担についての検討を考えている。

問 他区では、交通不便地域を割り出した上で移動手段の路線計画を策定しているように、当区もバス停・鉄道駅から200m以上離れた方々の移動に関する課題等の調査を全区的に行うこと。

答 今回のデマンド交通の検討の中、一部地域でアンケート調査を行った。今後の実証実験の結果等を踏まえ、他の地域における検討が必要になった際には、同様の調査の必要性について検討する。

問 将来を見据えた移動の自由保障をまちづくりの中心に据えるべきであり、高齢化社会への進展に対策を打たなければならない。町屋さくらの復活と区全体の「地域公共交通政策」の策定を求める。

答 他路線の乗客数を勘案しても、再度の町屋さくらの運行は困難である。また、地域公共交通政策については、現在進めているデマンド交通の検討や実証実験が、区全域における公共交通の在り方の検討にも資するものと考えている。



◀区内の交通便利性の向上を図る取り組み

その他の質問項目

- 子どもの貧困対策について
- 産業振興について

趣旨採択された請願

趣旨採択

- ・令和4年度第17号請願
2024年介護保険改正に関する請願

委員会活動の報告

議会運営委員会

中島 義夫 委員長

12月15～16日

◆行政視察

- ①大分県大分市（15日）
・議会BCPについて
- ②大分県（16日）
・若年層との意見交換について

1月27日

◆2月会議について

- ①提出予定案件について
- ②2月会議の会議期間について
- ③提出議案説明のための委員会開会について
- ④予算に関する特別委員会の設置について 等

◆（仮称）荒川区議会の個人情報の保護に関する条例について ほか

2月14日

◆2月会議について

- ①追加議案の提出について
- ②「荒川区子どもの権利条例」の提出について
- ③議員提出議案の提出について
- ④一般質問について
- ⑤2月15日・20日の本会議の議事の取り扱い及び順序について 等

3月14日

◆2月会議の最終日について

- ①追加議案の提出について
- ②荒川区議会の個人情報の保護に関する条例について
- ③3月15日の本会議の議事の取り扱い及び順序について

◆今後の議会日程について



◀大分県大分市にて視察の様子

常任委員会

総務企画委員会

小島 和男 委員長

1月10日

◆所管事務事業説明

- ①第47回荒川区政世論調査結果について
- ②私債権にかかる債権管理の取り組み状況について

2月1日

◆2月会議提出予定案件について

- ①荒川区個人情報の保護に関する法律施行条例
- ②荒川区個人情報保護運営審議会条例等の一部を改正する条例
- ③荒川区情報公開条例の一部を改正する条例
- ④令和5年度荒川区一般会計予算
- ⑤令和4年度荒川区一般会計補正予算(第6回)

◆所管事務事業説明

- ①あらかわ区政経営戦略プラン(令和5年度版)の策定について
- ②荒川区商業事業者訪問支援事業の結果報告について

2月21日

◆付託された議案について

- ①議案第51号
荒川区個人情報の保護に関する法律施行条例
- ②議案第54号
荒川区情報公開条例の一部を改正する条例
- ③議案第63号
令和4年度荒川区一般会計補正予算(第6回) 等

◆所管事務事業説明

- ①荒川区人員適正管理方針について



▲
第47回荒川区政世論調査
(概要版)

文教・子育て支援委員会

町田 高 委員長

1月12日

◆所管事務事業説明

- ①(仮称)荒川区西日暮里駅前文化交流施設整備基本方針(案)について 等 ほか

2月3日

◆2月会議提出予定案件について

- ①令和5年度荒川区一般会計予算について
【文教・子育て支援委員会関係】
- ②荒川区立保育所保育料に関する条例の一部改正について 等

◆所管事務事業説明

- ①峡田小学校及びびびぐらし小学校の学級数増加への対応状況等について
- ②(仮称)荒川区豊かな心を育む読書のまちづくり条例(素案)にかかるパブリック・コメントの実施結果について

◆(仮称)荒川区子どもの権利条例(素案)にかかるパブリック・コメントの実施結果及び条例の制定について

2月22日

◆付託された議案について

- ①議員提出議案第4号
荒川区就学援助の実施に関する条例
- ②議案第52号
荒川区豊かな心を育む読書のまちづくり条例
- ③議案第70号
荒川区児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例 等



▲
読書を愛するまち・あ
らかわの拠点となる、ゆ
いの森あらかわの柳田邦
男えほん館の様子

福祉・区民生活委員会

保坂 正仁 委員長

1月10日

◆区内視察

- ①区施設における高齢者のeスポーツ事業について（東尾久本町通りふれあい館・荒川老人福祉センター）

2月1日

◆2月会議提出予定案件について

- ①令和5年度荒川区一般会計予算について
【福祉・区民生活委員会関係】
- ②荒川区印鑑条例の一部改正について
- ③荒川区立心身障害者福祉センター条例の一部改正について 等

◆所管事務事業説明

- ①（仮称）町屋地区（町屋四丁目付近）ふれあい館の整備について
- ②児童発達支援センター化に向けたたんぽぽセンターの機能強化の方向性について **ほか**

2月21日

◆付託された議案について

- ①議員提出議案第5号
荒川区高齢者補聴器購入費助成に関する条例
- ②議案第59号
荒川区高額療養費支払費用貸付条例を廃止する条例 等 **ほか**

3月10日

◆付託された議案について

- ①議案第79号
荒川区国民健康保険条例の一部を改正する条例 **ほか**



◀ 荒川老人福祉センター
視察の様子

建設環境委員会

明戸 真弓美 委員長

1月12日

◆所管事務事業説明

- ①東尾久浄化センターにおける水処理施設の整備について

◆行政視察の集約について

2月3日

◆陳情審査について

1件

◆2月会議提出予定案件について

- ①令和5年度荒川区一般会計予算について
【建設環境委員会関係】
- ②令和4年度荒川区一般会計補正予算（第6回）について【建設環境委員会関係】
- ③荒川区地球温暖化対策推進条例の制定について

◆所管事務事業説明

- ①荒川区地球温暖化対策推進条例の制定及び荒川区地球温暖化対策実行計画の改定に伴うパブリック・コメントの実施結果について
- ②荒川区一般廃棄物処理基本計画の策定に伴うパブリック・コメントの実施結果について

2月22日

◆付託された議案について

- ①議員提出議案第6号
荒川区住宅リフォームの促進及び区内施工業者仕事づくり条例
- ②議案第53号
荒川区地球温暖化対策推進条例
- ③議案第78号
荒川区手数料条例の一部を改正する条例



◀ エコジュニアクラブの
環境活動の様子

特別委員会

震災・災害対策調査特別委員会

横山 幸次 委員長

12月21～22日

◆行政視察

- ①静岡県富士市（21日）
 - ・プロジェクトTOUKAI
 - 〔東海・倒壊〕-0の取り組みについて 等
- ②静岡県（22日）
 - ・静岡県地震防災センターについて

1月26日

◆調査研究事項

- ①区内造園業団体との災害時等における応急活動に関する協定について

ほか



◀静岡県地震防災センター視察の様子

健康・危機管理対策調査特別委員会

並木 一元 委員長

12月21～22日

◆行政視察

- ①愛知県豊橋市（21日）
 - ・豊橋市バイオマス資源活用施設整備・運営事業について
- ②大阪府摂津市（22日）
 - ・北大阪健康医療都市（健都）について

1月31日

◆調査研究事項

- ①夏の節電対策の結果と今冬における節電対策について

ほか



◀愛知県豊橋市にて視察の様子

観光・文化推進調査特別委員会

北城 貞治 委員長

12月23日

◆表敬訪問及び行政視察

- ①越生町役場【表敬訪問】
- ②埼玉県越生町
 - ・越生町の観光振興施策について

1月17日

◆行政視察の集約について



◀埼玉県越生町にて視察の様子

財政援助団体調査特別委員会

森本 達夫 委員長

1月13日

◆調査研究事項

- ①荒川区シルバー人材センターについて

ほか

1月30～31日

◆行政視察

- ①兵庫県神戸市（30日）
 - ・こども本の森 神戸の管理・運営について
- ②愛知県名古屋市（31日）
 - ・名古屋市文化振興事業団の運営について



◀こども本の森神戸視察の様子

予算に関する特別委員会で 令和5年度予算を可決

令和5年度一般会計予算ほか3特別会計予算は、全議員で構成される「予算に関する特別委員会」（委員長＝茂木弘、副委員長＝北村綾子）を設置し、2月28日から3月10日まで審査を行い、いずれも可決されました。



▲予算に関する特別委員会の様子
(左から議長・委員長・副委員長)

委員会での審査経過

2月28日

◆一般会計予算

○総括質疑（10会派）

※主な質問項目は別掲

○歳出審査（議会費・総務費）

3月1日

○歳出審査（総務費）

3月2日

○歳出審査（総務費・民生費）

3月3日

○歳出審査（民生費）

3月7日

○歳出審査（民生費・衛生費）

3月8日

○歳出審査（衛生費・環境清掃費・産業経済費）

3月9日

○歳出審査（土木費・教育費）

3月10日

○歳出審査（教育費・公債費・諸支出金・予備費）

○歳入審査（一括審査）

○採決

・組み替え動議（共産党提出）

採決の結果 否決

・原案

採決の結果 可決

◆国民健康保険事業特別会計予算

◆後期高齢者医療特別会計予算

◆介護保険事業特別会計予算

○審査

○採決 採決の結果 可決



◀予算に関する特別委員会
委員会室の様子

令和5年度 予算の概要

年度区分 会計区分		令和5年度 予算額	令和4年度 予算額	増減額	増減率
一般会計		1,133億7,000万円	1,071億6,000万円	62億1,000万円	5.8%
特別 会計	国民健康保険 事業	234億9,900万円	230億4,400万円	4億5,500万円	2.0%
	後期高齢者 医療	55億1,600万円	52億9,200万円	2億2,400万円	4.2%
	介護保 険事業	191億4,500万円	187億4,000万円	4億500万円	2.2%

主な総括質疑

※ 二次元コードから荒川区議会HPの動画に移行します

自民党
菅谷 元昭 委員



- 令和5年度予算について
- 公共施設の老朽化対策等について
- 子ども・若者の支援について
- 区民の安全・安心の取り組みの推進について

共産党
小林 行男 委員



- 震災対策について
- 高齢者福祉全般について

公明党
増田 峰子 委員



- 高齢者施策の充実について
- 不登校対策について

ゆいの会
清水 啓史 委員



- ボール遊びが出来る場の増設について
- 学童クラブのお弁当給食について

次世代あらかわ
夏目 亜季 委員



- ヘルプマークについて
- 区立公園内の公衆喫煙所整備について

日本創新党
小坂 英二 委員



- 少子化対策について

自由民主の会
藤澤 志光 委員



- 食の安全について

あらかわ元気クラブ
河内 ひとみ 委員



- 高齢者福祉全般、介護人材について

維新・子育ての会
山田 晴美 委員



- 保育園における体力測定について

立憲民主党
久家 繁 委員



- 若者相談「わっか」について

令和5年

区長の施政方針説明

(一部抜粋・要旨)

西川区長から、2月15日の2月会議初日の本会議において、施政方針説明が行われました。

新型コロナウイルス感染症との共生の取り組みの模索が続く中、紛争による国際情勢の変化に伴うエネルギー価格や物価の高騰の影響等により、生活を取り巻く環境は厳しさを増しています。こうした状況を踏まえ、区では、住民に最も身近な基礎自治体として、これまで以上に、区民の皆様のご意見・ご要望に耳を傾け、必要な支援策を着実に実行し、皆様が安心して暮らすことができるよう、迅速かつ丁寧に取り組みを進めて参ります。

令和5年度予算案は、このような思いで施策を具体化したものです。区民の皆様一人ひとりに寄り添う温かい行政を目指し、明るい未来に向かって着実に歩みを進めて参りたいという思いを込め編成しました。

これらの施策が、区民の皆様のご幸福実感に着実に結び付けられるよう、全力で取り組んで参りますので、より一層のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。



区長の施政方針説明の様子

令和5年度予算をこう評価する

3月15日の本会議において、令和5年度一般会計予算について各会派から討論が行われました。その要旨をお知らせします。

区民一人ひとりが明るい未来へ歩みを進めることができる予算となるよう一層の努力を要望し、賛成
自 民 党



自由民主党荒川区議会議員団は、本予算の編成にあたり、区民の不安を解消し、明るい未来に向けて希望の持てる街づくりを目指し、12の重点項目をはじめとした380を超える事項について、積極的に推進していくよう要望した。

本予算案ではこれらを踏まえ、喫緊の物価高騰対策をはじめ、子育て家庭への支援、福祉の充実など、多岐にわたる項目が予算化され、区民一人ひとりに寄り添ったものとなっており、区長及び区当局の努力を高く評価する。

我が党が要望した事項については、まず学校給食の無償化があり、現下の物価高騰等の厳しい局面でも、子どもたちの健やかな成長に欠かせない、安心して充実した給食の安定的な提供を要望した。今後、国に財源措置の充実を働きかけていくべきである。また、物価高騰対策については、時機を逸することなく、速やかな実行を望む。

子育ての分野では、4月から児童養護施設開設、ケアラーバーへの支援開始とともに「荒川区子どもの権利条例」の基本理念にもあるよう、子どもの最善の利益を優先した支援の充実を要望する。

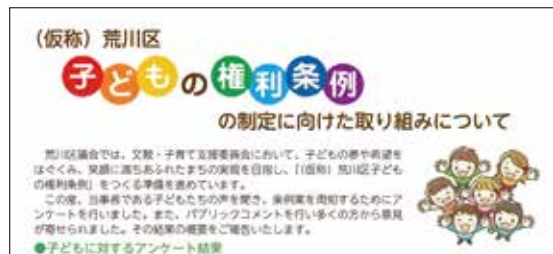
地域福祉の分野では、補聴器購入費助成の対象者の拡大、重度障がい者の居住、日中活動の場所の確保のための助成など、将来的な課題解消に向けた内容となっており、高く評価をする。

まちづくりの分野では、旧南千住浄水場用地などの新たな公園整備や、自転車の交通安全対策や避難所の開設訓練など、安全で賑わいあふれるまちづくりに向けた取り組みを期待する。

環境分野では、ゼロカーボンシティに向けた取り組み、産業分野では、物価高騰に苦しむ区内事業者への支援などの取り組みを評価する。

このほか、予算に関する特別委員会で、DXの活用、令和あらかわ病院開院における諸問題への対応、シェアサイクルの推進など、各分野において、数多くの質疑や有意義な提案をした。

新年度予算の執行にあたり、区民一人ひとりが明るい未来へ歩みを進めることができる予算となるよう、一層の努力を強く要望し、予算案に賛成の討論とする。



子どもの権利条例制定に向けた取り組みの様子
(区議会だより抜粋)

早急に検討すべき重要課題については検討を求め、賛成

公 明 党



私たち公明党は「小さな声を聞くちから」をモットーに、常日頃より、区民一人ひとりの小さな声に耳を傾け、150項目にわたる「あらかわ公明プラス150」を西川区長に提出した。区は、この提言を真摯に受け止めた1,133億円の過去最大規模となる来年度予算を編成した。

この予算では、我が党が強く要望してきた小中学校の給食費の無償化を始め、区立幼稚園のお弁当給食の開始、高校生までの医療費の無償化、若者相談支援体制の整備、スクールソーシャルワーカーの配置等、子育て家庭への支援や若者に対する支援を重点的に予算に計上した。更には、高齢者に配慮した地域福祉の向上、脱炭素社会の実現、にぎわいのある街づくり等を、高く評価する。

また、予算に関する特別委員会では、都市型軽

費老人ホームの整備促進、住み替え家賃助成の拡充、スクールカウンセラーの人員体制の拡充と不登校対策、災害対策を見据えた本庁舎・小中学校の建て替えの具体化、防犯カメラの更なる活用、介護・福祉事業所へのBCP策定、高齢者支援としての見守り家電や新たな見守り事業の実施、サニタリーボックス設置の拡大、廃食油の更なる活用、私道街路灯の計画的なLED化、ふるさと納税の更なる充実等、要望や提案をした。いずれも、区にとって早急に検討すべき重要課題である。しっかりと検討し、今後の予算執行に十分反映するようお願いする。

以上より、令和5年度荒川区一般会計予算案に賛成の討論とする。



◀ 電柱に設置された防犯カメラ

くらし応援やまちづくり、福祉の増進という点で不十分、区民に寄り添った予算組み替えを求め、反対

共 産 党



本予算は、くらし応援やまちづくり、福祉の増進という点から容認できない予算である。

第一に、区民のくらしと営業への支援が不十分である。高齢者のくらし支援の思い切った施策が必要な状況である。また、区内経済の礎である中小事業者の事業継続の直接支援はなく、子育て支援では、中間所得層への支援が欠如している。

第二に、まちづくりについて、西日暮里駅前・三河島駅前北地区再開発に伴うマンション建設への多額の税金投入は容認できない。住宅困窮者への家賃助成こそ最優先すべき課題ではないか。また、町屋さくらの廃止から1年が経過し、代替交通の見通しもなく、許される姿勢ではない。

第三に、区立幼稚園廃園や公設公営の保育園・ひろば館などの民営化路線の継続は容認できない。区立幼稚園5園廃止方針は、今からでも見直し、区立・私立幼稚園を充実させる支援を求める。

第四に、本庁舎建て替えに新年度12億5千万円、8年間で100億円を積み上げる計画は見直すべきである。区民生活への支援が急がれる中、区の独自財源投入は見直し、先送りすべきである。

日本共産党区議団は、予算編成に対して、感染症対策、区民の暮らしと営業の支援強化など12億4千万円の歳出増、大規模再開発や本庁舎基金の見直しなどの歳入減の予算組み替えを提案した。この10年前後、財政調整基金を取り崩しておらず、その時々の方針判断で予算をやりくりする区民施策が可能と考える。区民の大変さに寄り添った対応を求め、予算案に反対の討論とする。



◀ 荒川区役所の外観

「区民の命とくらしと生活」を守るために必要不可欠な予算であり、賛成

ゆいの会



令和5年度予算は、3年間にわたるコロナ禍、今後のウィズコロナにおいて「区民の命とくらしと生活」を守るために必要不可欠な予算である。

新規事業10項目のなかで特に区立小中学校の学校給食の無償化、区立幼稚園給食の提供開始については高く評価する。

今後の公園整備については、インクルーシブ公園、プレーパーク公園やボール遊びの出来る場等、付加価値のある公園を整備することを要望する。路上、歩きたばこの喫煙違反、不法投棄のない街づくり、そして自転車ルールマナーアップなど地

道な普及啓発活動ではあるが、根気強い継続を希望する。

また、重度障がい者の自立支援については、支援の充実がレベルアップ事業として位置づけられたことに、止まっていた時間がやっと少し動き始めた気がするとの意見も頂いた。防災分野においてはマンション防災、グレーゾーン住宅への取り組みの強化を要望する。

以上、指摘・要望し、賛成の討論とする。



区立心身障害者福祉センター
(荒川たんぼぼセンター)

非常時に備えてオンラインを活用した議会進行を求め、賛成



次世代あらかわ

予算に関する特別委員会では、まず議会費について、コロナ禍の経験をもとに、災害時や緊急時にも議会や委員会を開催できるよう、規則等を変更し、オンラインでの実施を求めた。設備など課題はあるが、非常時に備えた迅速な整備を求める。

総務費では、給食費無償化を含めた新しい施策による財政への影響を確認したほか、全世代が利用しやすいふれあい館、防災イベントの周知啓発、感震ブレーカーの対象者拡大、投票率向上に向けた取り組みについて改善に向けた要望をした。

民生費では、ヘルプマークとヘルプカードの配布場所拡大や普及啓発、あらかわ遊園の料金表示、バリアフリーとインクルーシブ遊具、学童の申込指数の改善について質疑をした。

衛生費では、子宮頸がん予防啓発月間に向けたあらかわ遊園でのライトアップ、地域猫活動への支援拡充について、前向きな検討を要望する。

最後に、コミュニティバス町屋さくらに対する

代替施策の早急な提示を求め、令和5年度予算に賛成の討論とする。



議会のオンライン開催に向けた検討を

生活保護制度を周知し、保護申請を積極的に認定することを求め、反対



あらかわ元気クラブ

世帯収入が下がり続ける中、物価高騰に対応出来ず貧困層の拡大が止まらない。介護保険料、国民健康保険料等を値上げしないよう国や都に公費負担増を提言すべきである。会計年度任用職員の正規職員との格差を是正すべきである。また、命の最期のセーフティネットとなる生活保護制度を周知し、保護申請を積極的に認定すべきであり、介護人材不足に対応するために、処遇改善を検討する必要がある。また、町屋さくらの廃止に当たり、交通弱者に対する政策を早期に検討すべきである。大手の建設会社や不動産会社のための西日暮里駅前再開発はやめるべきである。清掃現場ではようやく退職者補充が行われるようになった。教員の長時間労働が常態化し、負担を軽減しなければ教員不足は解消されない。新型コロナも5類に変更となるが、引き続き支援体制が必要である。

以上を求め、本予算案に反対討論とする。



生活保護について
(リーフレット)

議案の審議結果







令和4年度定例会・2月会議

○ 賛成 × 反対 欠 欠席 太字は討論のあったことを示す

議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は会派人数)										結果
	自 民 党	公 明 党	共 産 党	ゆ い の 会	次 世 代 あ ら か わ	日 本 創 新 党	自 由 民 主 の 会	あ ら か わ 元 気 フ ラ ブ	維 新 ・ 子 育 て の 会	立 憲 民 主 党	
	11	6	6	2	2	1	1	1	1	1	
議員提出議案（5件）											
第3号	荒川区子どもの権利条例	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決
第4号	荒川区就学援助の実施に関する条例	×	×	○	×	×	×	×	×	○	否決
第5号	荒川区高齢者補聴器購入費助成に関する条例	×	×	○	×	○	×	○	×	×	否決
第6号	荒川区住宅リフォームの促進及び区内施工業者仕事づくり条例	×	×	○	×	×	×	×	×	○	否決
第7号	荒川区議会の個人情報の保護に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
区長提出議案（31件） ※ 退席1名あり											
第51号	荒川区個人情報の保護に関する法律施行条例	○	○	×	○	○	○	×	○	○	可決
第52号	荒川区豊かな心を育む読書のまちづくり条例	○	○	×	○※	○	○	○	○	○	可決
第53号	荒川区地球温暖化対策推進条例	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
第54号	荒川区情報公開条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第55号	荒川区個人情報保護運営審議会条例等の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
第56号	荒川区保育の必要性の認定基準等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第57号	荒川区立保育所保育料に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第58号	荒川区立心身障害者福祉センター条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第59号	荒川区高額療養費支払費用貸付条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第60号	荒川区国民健康保険出産費資金貸付条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第61号	荒川区印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
第62号	荒川区区民ひろば館条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第63号	令和4年度荒川区一般会計補正予算（第6回）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第64号	令和5年度荒川区一般会計予算	○	○	×	○	○	×	×	○	○	可決
第65号	令和5年度荒川区国民健康保険事業特別会計予算	○	○	×	○	○	○	×	○	○	可決
第66号	令和5年度荒川区後期高齢者医療特別会計予算	○	○	×	○	○	○	×	○	○	可決
第67号	令和5年度荒川区介護保険事業特別会計予算	○	○	×	○	○	○	×	○	○	可決
第68号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて (砂田厚美氏)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	適当との意見
第69号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて (小澤清氏)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	適当との意見
第70号	荒川区児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第71号	荒川区学童クラブの設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第72号	荒川区家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第73号	荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第74号	荒川区認定こども園の認定要件に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第75号	荒川区幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第76号	荒川区指定障害児通所支援の事業等の人員、設備、運営等の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第77号	荒川区指定障害児入所施設の人員、設備、運営等の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第78号	荒川区手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第79号	荒川区国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	×	○	○	可決
同意第3号	荒川区監査委員の選任同意について（本渡章氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
同意第4号	荒川区教育委員会教育長の任命同意について（高梨博和氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

全国から多くの議会が視察に訪れています

12月9日～3月15日の間、6団体の行政視察を受け入れました。

日程	視察受入議会名	主な視察項目
12月 14日	 江戸川区議会	ゆいの森あらかわについて
22日	 北海道旭川市議会	①新公会計制度について ②荒川区民総幸福度について
1月 30日	 千代田区議会	荒川区民総幸福度について
2月 1日	 兵庫県尼崎市議会	①通年議会について ②委員会録音中継について
3日	 香川県東かがわ市議会	ペットの同行避難・去勢避妊など地域猫犬への取り組みについて
11日	 愛媛県今治市議会	ゆいの森あらかわについて



◀千代田区議会様



◀兵庫県尼崎市議会様



◀愛媛県今治市議会様

あらかわ区議会だよりの表紙写真を募集します！

【テーマ】荒川区内で撮影した **荒川区** または **季節感** をイメージする **未発表の横向き写真**

【資格】区内在住、在勤または在学の方

【募集】随時、受け付けます。 ※ **デジタルデータ**を送ってください

開会会議号(6月中旬発行) 令和5年5月19日まで	新年号(1月1日発行)	令和5年12月1日まで
6月会議号(8月上旬発行) 令和5年6月30日まで	11月会議号(1月下旬発行)	令和5年12月1日まで
9月会議号(11月中旬発行) 令和5年9月30日まで	2月会議号(4月中旬発行)	令和6年 3月1日まで

【方法】応募者の氏名・住所（区外在住で区内に在勤または在学の方は、勤務先名か学校名も記載）・電話番号・撮影年月日・撮影場所・写真のタイトルを記入し、写真のJPEGデータを添付の上、

Eメール (kugikai@city.arakawa.lg.jp) で送ってください。

【掲載】決定しましたら、ご本人に連絡させていただきます。

【その他】人物や個人の所有物を撮影した場合は、被写体または所有者の承諾を得てください。

採用された写真は必要に応じてトリミング等、編集を行うことがあります。

採用された写真の使用権は荒川区議会に帰属します。